

主な事業と予算額(千円)	
○村道整備(維持・改良・舗装)事業費	95,000
○公共下水道事業費	9,500
○県道関係事業負担金	7,000
○道路台帳整備電算委託料	2,000
○除雪対策費	9,694
○河川海岸維持工事費	3,500

村道整備関係については、維持修繕等が十三路線、道路改良等として改良工事四路線、舗装工事十六路線を計画しています。また、除雪機械により冬季間の道路交通の確保に努めます。

土木振興

**公共下水道事業に着手
本年度は基本計画を策定**

公共下水道事業については、本年度より二か年で基本計画策定及び事業認可設計の業務委託を計画しており、平成七年度は、本村下水道の基本計画策定業務委託を実施します。平成四年度に採択された西川流域下水道事業は、順調に進んでいます。

県道関係では、新潟寺泊線バイパスの栄々新湯・五泉・間瀬線間が本年度暫定共用開始となります。新湯・五泉・間瀬線々村道医療センター西長島線間は、県単事業として計画されています。

また、交通安全施設整備事業ですが、新湯・五泉・間瀬線の富岡地区及び岩室

近年の温泉需用の高まりから、本年度は観光基盤確立のため、新たに温泉掘削を行います。また、県の補助事業「地域商業振興構想策定事業」に岩室温泉街を特定し、活性化に努めます。



▲大会の様子はテレビでも放映された



▲学校教育田で稲刈り体験(和小学)

本村の基幹産業である農業を取り巻く情勢は一段と厳しくなっており、平成七年度も米づくりと転作を組み合わせた生産性の高い水田営農の確立を目指します。農業振興地域整備計画促進事業については、平成六年度に「特別管理」事業として見直し地域の指定を受け、本年度中には見直し完了する予定です。また、農地関連事業については、県営土地改良

農林水産業の振興

**米づくりと転作を組み合わせた
生産性の高い水田営農の確立を**

総合整備事業(栄・新谷地区)や県営ほ場整備事業(岩室地区・和納地区)を行っています。なお、地積調査については、平地の残り約二割(石瀬・金池・樋曾の一部)のうち、大字石瀬の調査・測量と大字岩室の図面作成閲覧等を行います。

農道集落道の四路線と農業排水・集落排水の二路線を整備します。また、農村環境改善センターは、本年度中に外構工事を行い、全ての工事が完了します。

その他、林業振興、松くい虫被害対策、畜産振興などにも積極的に取り組めます。間瀬海岸公有水面埋立造成事業については、平成六年度に村単独用地の土地利用計画が策定されており、今後皆さんに利用計画の全容をお知らせしながら、よ

観光商工の振興

**観光基盤確立のため
新しい温泉源泉を掘削**

岩室温泉は、自然環境・温泉情緒の良さや温泉そのものの良さから観光客の入り込みは順調です。また、間瀬・田ノ浦温泉や海水浴を中心とする観光も通年化が定着しつつあり、さらに受け入れ体制とその基盤の整備を図っていきます。このほか、うるおいの新湯大型キャンペーンなどの広域事業にも積極的に参加するとともに、観光協会が中心となって計画する事業については、発想の転換をし、時代に即した見直しを行っていきます。

商工業の振興については、昨年商工会が行った商店街活性化のための商業診断

主な事業と予算額(千円)	
○観光費及び観光宣伝事業費	14,719
○地方産業育成資金貸付金	59,200
○商工会補助金	7,000
○地域商業振興構想策定事業費	2,142
○中小企業大学受講助成金	300

で、「優れた経営感覚を持つ担い手の育成が重要」との報告を受けました。このため、本年度は、人材育成事業として中小企業大学校が行う経営セミナーに概ね十名を派遣し、その受講者に対して助成を行います。

主な事業と予算額(千円)	
○各種検診及び予防接種事業費	30,160
○人間ドック委託料	2,250
○乳児及び精神障害者医療費助成金	3,942
○ごみ収集委託料	26,265
○巻町外三ヶ町村衛生組合負担金	115,591

保健衛生の推進

**健康医療サービスの充実と
地域環境の保全**

村民の医療に対する需用の増大・多様化に対応するため、健康医療サービスの充実に努めます。また、経済の変化や生活様式の多様化等により、村の環境保全を図っていく取り組みがますます重要になってきています。

成人病対策については、総合検診を始め、各種検診、教室、訪問指導等の事業を推進するほか、新規に骨粗しょう症検診を計画しています。人間ドック受診助成については増額するなどして健康づくりを一層推進していきます。

環境対策(巻町外衛生組合事業)ですが、清掃工場の老朽化により多量のごみ処理が難しくなっています。皆さんもごみの搬出の際は、分別と減量化にご協力をお願いします。また、地域の環境保全のため、広報活動の充実を図り、豊かな村づくりを推進していきます。



昨年10月の「健康ウォーキング」

主な事業と予算額(千円)	
○水田営農活性化対策事業費(助成金・委託料)	9,160
○農業振興関連事業費	4,578
○農地費	132,238
○国土調査費	23,906
○農村総合整備モデル事業工事費	110,400
○林道開設事業費	61,647
○漁港及び漁港環境施設整備負担金	37,500

り良い利用法を考えていきたいと思えます。また、漁港環境整備事業による護岸の一部に、県の協力により間瀬小学校の児童全員が描いた絵をデザイン化したカラータイルを設置します。さらに、現在の埋立区域より前方に計画されている、「県営漁港交流広場整備事業」及び「県営間瀬漁港環境整備事業」を行います。

従来にも増して徹底した歳出の洗い直しに取り組み一方、限られた財源の中で資金の重点的・効率的な配分に努め、質的な充実と配慮することとして「平成七年度の経済見通しと経済運営の基本的態度」にのっとり編成するとされております。地方公共団体に対しては、「国と地方の関係等に関する改革推進要綱」等を踏まえ、国と同一の基調により歳出を極力抑制するとともに、一般行政経費の節減合理化、定員及び給与についての適切な管理等を行うことにより、財源の重点的かつ効率的な配分を行い、「公共投資基本計画」等の考え方に沿った社会資本整備の着実な推進に配慮しつつ、節度ある財政運営を図るよう要請されております。

当村の平成七年度財政の見通しについては、歳入で一番大きなウエイトを占める村税の伸びが期待できず、地方交付税については、その算定基礎となる基準財政需要額及び基準財政収入額の増減状況によって相当の差異が生じるものであることから、適正な試算ができませんが、老人デイサービスセンター建設事業等への財源充当を考慮し、節度ある財政運営を行うことを基本として編成いたしました。一般会計予算は、前年度当初予算と比較し六・四％減の三十五億二千万円であります。

特別会計予算

国民健康保険特別会計	予算総額
5億2,778万円	

本村の国民健康保険の健全な事業運営の確保を図るため、公平かつ適正な賦課・徴収を行うとともに、健康の保持・増進を推進するための各種検診の充実を図ります。また、寝たきり老人等を訪問指導するため、指導車を購入します。

老人保健特別会計	予算総額
9億170万1千円	

本村は老人割合が多いことから、医療費も高額となっています。国保同様、健康の保持増進並びに医療費の適正化を更に推進していきます。

温泉集中加熱事業特別会計	予算総額
9,962万円	

本村の基幹産業である「観光」の振興のため、本年度新たに温泉を掘削し、質・量ともに安定した供給が図れるようになります。

水道事業特別会計	収益的収入	支出	資本的収入	支出
3億317万5千円	3億317万5千円	721万2千円	9,870万5千円	

経営の効率化・財源確保に努めながら、本年度も老朽管を整備更新し、水のより一層の安定供給を図ります。